

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	5 国際相互理解の促進			事業・枝事業番号	5-1-(1)
事業名	日本語学習支援事業 (1)一般支援			担当課	文化交流課
				経営計画	継続
目 的	様々な日本語学習の場を提供し、区内に11%占める在住外国人が生活に必要な最小限の日本語を習得することで、日本人との意思疎通を図り、多文化共生コミュニティの活性化を目指す。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	15,380	15,484	△ 104	部	経常増減の部
自主事業収益	15	25	△ 10	大	事業費
受託事業収益	0	0	0	中	5号事業費
自主財源	565	555	10	種別	自主・受託
区受託料	5,067	5,164	△ 97		
区補助金(人件費)	1,554	1,558	△ 4		
区受託料(人件費)	8,179	8,182	△ 3		

事業の計画

<p>1 実施内容(予定)</p> <p>(1)新宿区日本語教室の実施(受託) 期間:通年、3学期に分け、教室の空き状況に応じて随時入室可能とする。 対象:生活に必要な最低限の日本語を習得する必要のある外国人。720人程度。 内容:媒介語を用いず、日本語を使って日本語を教える直接法による指導。外国人にとって生活に必要な最低限の日本語の習得を支援する。 教室数:新宿区内施設10ヵ所12教室を実施</p> <p>(2)新宿区日本語教室運営に必要なボランティアの養成(受託) 期間:年間1コース。全30回・60時間(基礎知識と実習) 対象:日本語ボランティア活動に関心がある人。30人</p> <p>(3)親子日本語教室(自主) 回数:10回を1コースとして年間2コース実施 内容:親子日本語教室では、託児できる環境を作り、小さな子どもと一緒に学習できる機会を確保する。 対象:日本語を話す事が不自由な親子 各コース15人 共同主催:新宿虹の会</p> <p>2 成果指標 参加者数 780人(平成22年度実績:665人) (新宿区日本語教室720人・ボランティア養成講座30人・親子日本語教室30人)</p> <p>3 実施上の課題 (1)新宿区日本語教室は参加者の利便性を考慮した区施設を利用できるよう調整する。 (2)親子日本語教室を新宿区日本語教室に編入させ、通年で実施することにより参加の機会を拡充する。 (3)他のボランティア活動条件との均一化を図る。</p> <p>4 実 績 平成22年度 (1)新宿区日本語教室(受託) 学習者:579人 ボランティア登録者:89人 (2)日本語ボランティア養成講座(受託) 5月31日～7月5日(週2回全20回)受講者26人 10月4日～3月14日(週1回全20回)受講者30人 (3)親子日本語教室(自主) 回数:全20回(10回×2コース) 参加者:42人(うちボランティア12人)</p> <p>5 対前年度予算増減説明 ボランティア養成講座の運営方法見直しによる委託費の減</p>			
根拠法令・規程	新宿区自治基本条例	事業開始	平成6年度

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	5 国際相互理解の促進			事業・枝事業番号	5-1-(2)
事業名	日本語学習支援事業 (2)子ども支援			担当課	文化交流課
				経営計画	継続
目 的	外国籍の児童生徒が学校や地域コミュニティで円滑な生活を送れるようにするため、外国籍児童生徒の日本語学習および教科学習支援を行う。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	21,890	30,049	△ 8,159	部	経常増減の部
自主事業収益	15	15	0	大	事業費
受託事業収益	0	0	0	中	5号事業費
自主財源	845	565	280	種別	自主・受託
区受託料	11,297	19,729	△ 8,432		
区補助金(人件費)	777	779	△ 2		
区受託料(人件費)	8,956	8,961	△ 5		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1)日本語学習等支援事業(放課後支援/受託)
 - 会場:外国人児童生徒が在籍する学校 時間回数:放課後の時間帯、1回約2時間、上限70回
 - 対象:学校におけるサポート指導終了者 (2)の夜の子ども日本語教室との同時受講は原則不可、65人
 - 内容:マンツーマン方式により、日本語支援及び教科学習支援を日本語で行う。
- (2)夜の子ども日本語教室(こどもクラブ新宿/受託)
 - 会場:新宿区立教育センター・榎町子ども家庭支援センター 時間回数等:夜の時間帯
1回約2時間、週2回(ただし中学3年生のみ週3回)
 - 対象:小学5年生～中学3年生。原則として日本語学習等支援事業終了者、約60人
 - 内容:日本語支援及び教科学習支援を行う。
- (3)夏休み・春休みの日本語教室(自主)
 - 会場:しんじゅく多文化共生プラザ 期間回数:夏休み及び春休み期間中(全12～20回、2コース)
 - 対象:来日して間もない児童生徒、各コース10人程度
 - 内容:日本語の初期支援
- (4)子ども支援対象の日本語ボランティア養成講座(受託)
 - 回数等:10回程度、2コース
 - 対象:児童生徒の日本語学習等支援に関心がある人、各コース30人程度
- (5)ボランティア研修会(受託)
 - 内容:子ども日本語支援に登録しているボランティアを対象に2回から4回開催

2 成果指標

参加者数 265人(平成22年度実績:210人)
(日本語学習等支援事業65人・夜の子ども日本語教室60人・ボランティア養成講座60人・夏、春休みクラス20人、研修会60人)

3 実施上の課題

- (1)各関係機関・関係事業と連携し効果的な日本語支援の仕組みを引き続き検討する。
- (2)ボランティアが活動しやすい条件(活動費や教材支援)を検討する。

4 実 績

平成22年度

- (1)日本語学習等支援事業/学習者60人
- (2)夜の子ども日本語教室/学習者34人
- (3)夏休み春休み日本語教室/全18日、参加者14人 夏8月9日～8月20日 春3月26日～3月30日
- (4)子ども支援対象の日本語ボランティア養成講座/受講者55人
- (5)ボランティア研修会/受講者47人

5 対前年度予算増減説明

日本語学習等支援事業(放課後支援)ボランティア諸謝金精査のため減

根拠法令・規程	新宿区自治基本条例	事業開始	平成20年度
---------	-----------	------	--------

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	5 国際相互理解の促進			事業・枝事業番号	5-2
事業名	外国人のための高校進学ガイダンス			担 当 課	文化交流課
				経営計画	継続
目 的	進学面での不安を抱える家庭の保護者及び生徒をサポートするため日本の進学事情について学ぶ機会を提供する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	1,561	1,558	3	部	経常増減の部
補助事業収益	0	0	0	大	事業費
区補助金	391	389	2	中	5号事業費
区補助金(人件費)	1,170	1,169	1	種別	補助事業

事業の計画

1 実施内容(予定)

時期:6月~7月上旬(中学3年以下)、1月下旬(中学2年以下)、先輩高校生との交流会も同時期に開催
 対象:日本での高校進学に不安を持つ(主に)区内在住の外国籍の児童・生徒保護者
 回数:年2回、先輩との交流会を1回 計3回 参加者数:150人(3回合計)
 会場:新宿区立教育センター(予定)
 内容:入試に必要な情報を通訳及び翻訳版資料を準備して提供する。
 ・区内中学校教諭による進路指導案内
 ・外国人高校生による体験談
 ・学習支援団体による援助案内
 ・先輩高校生との交流会
 ・個別質問及び相談対応

2 成果指標

参加者数 150人(平成22年度実績:110人)

3 実施上の課題

- (1)開催回数、開催時期、開催場所の調査と検討を行う。
- (2)各国言語に適応した対応をすることで、保護者や生徒に日本の受験システムの理解を深める。
- (3)ガイダンスの情報を必要としている生徒へ情報を伝えるための学校への働きかけを行う。

4 実 績

平成22年度
 回数:3回(ガイダンス2回+交流会1回)
 参加者数(延べ):110人 <1回目58人 2回目26人 交流会26人(日本人見学者及び引率等含む)>
 協力団体:NPO法人多文化共生センター東京、現役高校生
 CCS 世界の子どもと手をつなぐ学生の会
 しんじゅく多文化共生プラザ(会場提供)

5 対前年度予算増減説明

先輩高校生との交流会実施にかかる消耗品による増

根拠法令・規程	新宿区自治基本条例	事業開始	平成19年度
---------	-----------	------	--------

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	5 国際相互理解の促進			事業・枝事業番号	5-3
事業名	多文化交流事業			担 当 課	文化交流課
				経 営 計 画	事業内容の変更
目 的	国際理解及び日本文化理解を深め、多文化共生社会を実現するためイベント・講座を実施する。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	3,348	3,268	80	部	経常増減の部
自主事業収益	817	817	0	大	事業費
自主財源	584	503	81	中	5号事業費
区補助金(人件費)	1,947	1,948	△ 1	種別	自主事業

事業の計画

1 実施内容(予定)

(1)多文化交流プログラムの実施

回数:通年で延30回実施、定員平均35人

会場:しんじゅく多文化共生プラザ、生涯学習館、地域センター

内容:各国事情の紹介、料理・音楽・観光等の紹介、日本文化体験、区内国際関係NPO紹介などの講座・イベントを年間延30回実施予定

(2)国際交流区民のつどい・ひなまつり

回数:年1回、毎年2月下旬～3月上旬に実施

会場:新宿文化センター小ホール、展示室及び4階全会議室

内容:日本文化体験(日本文化舞台発表、茶道、華道、水墨画 (ほか))

共同主催:女性海外研修者の会

(3)国際交流サロン

回数:各月第2金曜日、午後6時45分～8時30分

会場:しんじゅく多文化共生プラザ

内容:交流会、参加者55人

※「国際都市新宿・踊りの祭典」を新宿文化センター指定管理事業へ移管したため、事業内容の変更。

2 成果指標

参加者数 1,860人(平成22年度実績:1,501人)

(多文化交流プログラム900人、ひなまつり200人、国際交流サロン660人)

3 実施上の課題

(1)国際理解・多文化共生理解のきっかけとなるよう気軽に楽しめる魅力ある講座・イベントを実施する。

(2)日本文化紹介講座への外国人参加者数の増加を図る。

(3)各国観光局やNPO団体と連携を強化するとともに生涯学習地域人材交流ネットワーク制度登録者を積極的に活用する。

4 実 績

平成22年度

(1)国際理解講座／通年で30回実施、参加人数583人

(2)国際交流区民のつどい・ひなまつり／2月26日(土)実施 参加人数 291人(うち一般来場者214人)

(3)国際交流サロン／通年で12回実施、参加人数627人

5 対前年度予算増減説明

購入実績による消耗品費用の増

根拠法令・規程	新宿区自治基本条例	事業開始	平成5年度
---------	-----------	------	-------

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	5 国際相互理解の促進			事業・枝事業番号	5-4
事業名	外国人相談窓口運營業務受託			担当課	文化交流課
				経営計画	継続
目 的	相談事業を通して外国人が安心して暮らせる生活環境を整備する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	20,033	16,131	3,902	部	経常増減の部
受託事業収益	0	0	0	大	事業費
区受託料	15,601	11,720	3,881	中	5号事業費
区受託料(人件費)	4,432	4,411	21	種別	受託事業

事業の計画

1 実施内容(予定)

在住外国人の生活相談に各言語で応じ、問題解決へのアドバイスを対面、電話にて無料で行う。
曜日ごとに英語、中国語、韓国語、タイ語、ミャンマー語で対応。
区内幼小中学校が保護者に配布する書類の翻訳依頼への対応、通年で実施。

(1)外国人相談窓口

会場:新宿区役所1階

対応言語:英語/月～金、中国語/月～金(平成23年度:月・水・金)

韓国語/月～金(平成23年度:火・木)

(2)外国人相談コーナー

会場:しんじゅく多文化共生プラザ

対応言語等:韓国語/月・金、中国語/火・木、英語/水(第1、3、5)・木・金(第3)、タイ語/火
ミャンマー語/木、在留資格・生活相談/金(第2)

2 成果指標

相談利用件数 6,000件(平成22年度実績:4,940件)

(外国人相談窓口5000件、外国人相談コーナー1,000件)

3 実施上の課題

相談員の人数の確保する。

4 実 績

平成22年度

(1)外国人相談窓口

会場:新宿区役所1階

相談件数: 4,106件

(2)外国人相談コーナー

会場:しんじゅく多文化共生プラザ

相談件数: 834件

5 対前年度予算増減説明

中国語、韓国語の相談員が月曜日～金曜日対応になることによる諸謝金の増

根拠法令・規程	新宿区自治基本条例	事業開始	平成9年度
---------	-----------	------	-------

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	5 国際相互理解の促進			事業・枝事業番号	5-5
事業名	しんじゅく多文化共生プラザ 運営支援			担 当 課	文化交流課
				経営計画	継続
目 的	豊かな多文化共生社会実現のための拠点としてしんじゅく多文化共生プラザを機能させるため運営を支援する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	7,137	6,539	598	部	経常増減の部
受託事業収益	0	0	0	大	事業費
区受託料	2,431	1,859	572	中	5号事業費
区受託料(人件費)	4,706	4,680	26	種別	受託事業

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1)書籍・資料の充実
- (2)新宿日本語ネットワークと連携した無料日本語学習
回数:通年、月・火・木・土曜日の午後2時間程度
会場:しんじゅく多文化共生プラザ
内容:日本語入門・初級学習者に対し、生活に必要な最低限の日本語を指導する
対象:外国人の日本語入門・初級学習者の全般、各回40人
参加費:無料
- (3)新宿区多文化共生連絡会の運営補助
回数:通年(年3~4回、ほかに分科会を適宜実施)
会場:しんじゅく多文化共生プラザほか
内容:新宿区における豊かな多文化共生実現のための意見交換・提案・検討
対象:主に新宿区内で活動するNPO団体やボランティアなど

2 成果指標

無料日本語学習5,760人(平成22年度実績:4,871人)
(40人×年間約144回)

3 実施上の課題

- (1)日本語学習に活用できるコーナーを区内展開するための会場確保する
- (2)新宿区多文化共生連絡会の円滑な運営を支援する

4 実 績

平成22年度
(1)ボランティア団体(新宿日本語ネットワーク)による無料日本語学習
年間参加者数 4,871人
(2)新宿区多文化共生連絡会
全体会:6回開催 参加者数:156人
分科会:10回開催 参加者数:98人

5 対前年度予算増減説明

日本語教材購入による消耗品費の増

根拠法令・規程	新宿区自治基本条例	事業開始	平成17年度
---------	-----------	------	--------

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	5 国際相互理解の促進			事業・枝事業番号	5-6
事業名	日本語スピーチコンテスト			担当課	文化交流課
				経営計画	継続
目 的	地域に暮らす外国人と日本人が相互理解を深め、多文化共生社会づくりを推進するため外国人による日本語スピーチコンテストを実施する。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	865	885	△ 20	部	経常増減の部
自主事業収益	0	0	0	大	事業費
自主財源	280	300	△ 20	中	5号事業費
区補助金(人件費)	585	585	0	種別	自主事業

事業の計画

<p>1 実施内容(予定) 日時:平成24年6月9日(土) 会場:新宿文化センター小ホール 内容:来日2年以内の区内在住、在学、在勤の外国人による日本語スピーチコンテスト 共同主催:東京四谷ライオンズクラブ</p> <p>2 成果指標 一般来場者数200人(平成22年度実績:196人)</p> <p>3 実施上の課題 (1) 広く募集を行い、国籍などの多様化も含め多くの外国人が出場できる機会を作り、申込者が増えた場合には予備審査を行う。 (2) 出場者・入賞者の多文化交流プログラム等への派遣や人材バンクへの登録など、幅広く活動できる仕組みを作る。 (3) 多くの区民にスピーチの内容を知ってもらい機会として、会場で聞いていただくだけでなく他の複数の手段(WEBサイトや広報紙での紹介など)を導入していく。 (4) 一般区民が関心を持ち来場する周知方法・内容を検討する。</p> <p>4 実 績 平成22年度 日時:6月12日(土) 会場:新宿文化センター 小ホール 発表者20人、一般来場者196人 平成23年度 日時:6月11日(土) 会場:新宿文化センター 小ホール 発表者14人、一般来場者 140人</p> <p>5 対前年予算増減説明 副賞・参加賞の共催団体との負担分担変更に伴う消耗品費の減</p>

根拠法令・規程	新宿区自治基本条例	事業開始	平成5年度
---------	-----------	------	-------